

事業番号 0135

(事業名) 原子力政策の検討及び適切な情報発信等

(担当部局) 科学技術・イノベーション推進事務局

－公開プロセスの評価結果－

<評価結果>

事業全体の抜本的な改善

<取りまとめコメント>

重要な事業であることは間違いない。しかし、1つの事業に複数の業務が入り込んでおり、そのため、効果測定が不十分になっている。これが、国民の認知度を高めていない要因である。

従って、国民の認知や事業の透明性を高める、この2つの目的のためにアウトプットやアウトカム、それぞれについてより具体的な指標を設定すべきである。

併せて、危機時に適切に対応できるよう体制強化の検討をすること。

<外部有識者の評価>

- | | |
|---------------|----|
| イ 廃止 | 0名 |
| ロ 事業全体の抜本的な改善 | 4名 |
| ハ 事業内容の一部改善 | 2名 |
| ニ 現状通り | 0名 |

<外部有識者のコメント>

- ・一つの事業にまとめられない複数の業務が入っているので、目標を設定し、その達成度を評価することが極めてむずかしくなっている。事業内の各業務をそれぞれ、分けるべきであろう。
- ・旅費、委託費の適正さの議論については会計検査に任せれば良い。
- ・この事業自体は非常に重要なものであるが、様々な省庁が原子力政策に係わっており、国全体として効率的とは思えない。独立性の必要性や観点の相違があるにしても、どの省庁が何を担当するかについて一定程度は整理統合すべきではないか。
- ・原子力政策の検討および適切な情報発信等という観点は重要だと考える。しかし、残念ながら、原子力白書以外に、これと言って、成果らしい成果に結びついていない。よって、IAEA などの集まりに出席するような費用は別にとらえ、国民に対して、バイアスなく原子力に関する情報を発信していくことに注力するのはいかがかと考える。少額だからといって、中身がなんでもいいわけにはいかない上、一つ一つの調査に関するアウトプットをどう利用し、どう活用していくのかも抜本的に考えるべきだと思う。
- ・非常に重要なテーマだが、効果測定が十分でないと思える。
- ・調査、海外との交流、情報発信とそれぞれ違う種類の取り組みのそれぞれのアウトカムを整理・設定していくべきと考える。現在の WEB サイトのアクセス数というアウトカムについても目標値が前年の実績値を横置きされており、修正が必要である。あるべき目標値を設定し、より多くの国民の理解を促す必要があると考える。
- ・危機時に適切に対応できるよう、体制の強化を検討していただきたい。
- ・特に、危機時において情報発出量を落とすことがないよう、冗長性を持たせるようにしていただきたい。
- ・原子力政策は本来、原発の安全確保にとどまらず、より幅広い平和利用を含むものであるが、国民の認知度は、決して高くないのが現実ではないか。国民全体で、原子力政策全体のあり方や方向性を理解したうえで考えられるよう、本事業の執行に際し、①原子力委員会の中立性を確実なものとし、および②透明性（情報公開）を高めるように工夫する余地があると思われる。例えば、原子力委員会についても、原子力規制委員会の情報公開のやり方を見習って、リアルタイムでの議事のインターネット公開を行ったり、公開の市民フォーラムのような場を設けることが望ましいと考えられる。そのような形で透明性が確保されてこそ、国民は、わが国としての原子力政策が中立的な立場で行われているかどうかを確認できるのではないかと考える。アウトプット指標やアウトカム指標についても、本事業の効果をより高めるうえで、改善の余地がある。